

奈良県社協ホームページ
<https://www.nara-shakyo.jp/>

奈良ボランティアネット
<https://www.naravn.jp/>

 奈良県社会福祉協議会 広報紙

ふれあいネットワーク

奈良県

福祉だより



2024

No.567

CONTENTS


P 2-3 【特集】 インタビュー

この人に逢いたい! 聞きたい! 話したい!

「ほっと・はーと・なら」

境界線の引かれた社会に魔法をかける
“まほうの다가しや チロル堂”の挑戦

まほうの다가しや チロル堂 共同代表
一般社団法人無限 代表理事
いしだ よしこ
石田 慶子 さん



P 4-5

**福祉サービスの質の
向上に向けた
取り組み紹介**

～利用者の声を聞くために～

P 6-7

福祉人材ニュース

- 福祉人材・採用力UPセミナー
1/15(水)
- 福祉職カフェ in 奈良
1/18(土)
- かいご「再就職」応援セミナー
2/15(土)
- 福祉&保育のおしごとフェア
in 奈良 2025 3/16(日)

P 8

**「小津こども
福祉基金運用事業」**

こどもの未来応援プロジェクト

P 9

福祉で働く人の福利厚生を
支援しています。

社会福祉法人福利厚生センター
「ソウェル・クラブ奈良」

奈良県社協会員施設の
役職員の皆さまへ
西日本自動車共済協同組合割引
のごあんない

P 10

赤い羽根共同募金 情報

令和6年度 選べる募金
**奈良県ぴ～すぺ～す
プロジェクト**

P 12

奈良県中央善意銀行へ
**ご寄付・ご寄贈
ありがとうございました。**

**奈良県社会福祉協議会
賛助会員**

「地域ささえあい基金」の設置



境界線の引かれた社会に魔法をかける

“まほうの다가しや チロル堂”の挑戦

この人に逢いたい！聞きたい！話したい！「ほっと・はーと・なら」

奈良に縁のある多彩な分野で活躍されている方々にスポットをあて、活動への熱い想いと「福祉(幸せ)」についてお話しをお伺いするこの特集。

近鉄生駒駅改札を出て徒歩約2分。黄色い暖簾を潜ると、カラフルで温かな空間が出迎えてくれる。全国的に注目を浴びている駄菓子屋、チロル堂。そこには、いったい何があるのか。立ち上げメンバーの一人、石田慶子さんにお話を伺った。



いしだ よしこ
石田 慶子 さん

- ・まほうの다가しや チロル堂 共同代表
- ・一般社団法人無限 代表理事



まほうの다가しや
チロル堂HP

■ チロル堂のたねー福祉の中で感じた行き詰まり

子どもの問題は、親の問題や社会の問題とつながっているのに、目の前の困りごとに対応しようとすると、いつも「ここまで」という限界がある。障がい福祉の仕事をしている石田さんは、“福祉制度の縦割り”に行き詰まりを感じていた。

■ 出会い — たわわ食堂と“愛しきポンコツ”店主

そんな時、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層の人たちが訪れる“たわわ食堂(地域食堂)”と出会う。そこには、「誰がご飯を作っている人で誰がご飯を食べに来た人か、わからない形で存在している」風景があった。そんなたわわ食堂の店主・溝口雅代さんを石田さんは親しみを込めて「愛しきポンコツ」と呼ぶ。「『箸がないよ』って言ったら『取ってくる』って、お茶を持ってきたりとか。そういうタイプの人。「みんなが彼女を助けたいと思って、動きだすみたいなのが起こっていた」という。「自然とそういう境界線のない関係性(「誰が誰を癒やすかはわからない」「支援する人が癒やされているっていうことも起きている」)が成り立っているのを見て、こういう場所に可能性があるな」と思った。障がい福祉は「課題解決型の支援」だが、たわわ食堂には「偶発性の支援」が生まれていた。

「大事なのは、場が開かれていること。誰かと誰かが出会うっていうことをデザインする。困っているか、困っていないかも問わずに、誰でも来られる場所をつくることで、誰かが癒やされる場所になるかもしれない」

石田さんは、「どんな子どもでも、どんな人でも来られる場所をつくるっていうことが自分たちのやりたいこと」と、溝口さんと意気投合した。

■ チロル堂のはじまり

これまで届けられなかった子どもたちに居場所を届けるためには、どうしたらよいか。考えた末、「全然別の価値観を持っている(自分たちとは)違う人たちと一緒にやろう」と声を掛けたのが、デザイナーの吉田田タカシさんと、坂本大祐さん。溝口さんを含めた4人で新たに立ち上げたのがチロル堂だ。

ある日の午前2時、突然吉田田さんから「閃いた！」と次のようなストーリーがLINEで送られてきた。

「ここは、“まほうの다가しや チロル堂”。入口を入ると、子どもたちが一日一回だけ回せるガチャガチャが置いてあります。ガチャガチャの中にはカプセルがあって、チロル札が一枚入っていたり三枚入っていたりします。そのチロル札で、子どもたちはカレーを食べることができます」

「天才!」「やろう!」とメンバー全員が賛同。こうして、魔法が生まれる“チロル堂”の仕組みが誕生した。

■ どんな子どもも来れる、行きたくなる場所に

「どんな子どもでも行きたくなる場所」であり、「子ども達が“招待される場”ではなく、“自分の意思で行きたい場所”になることが大事だった」。自分で来て、10円払って駄菓子を買う。「子ども達の主体的な行動」を生むには、文房具屋や図書館では難しい。これが“駄菓子屋”にした理由だ。

メンバーの吉田田さんの提案で、「子どもと子どもの中に簡単に大人が介入しない」「大人のルールを設置しない」ことにした。「大人がルールを決めたら、何ができてかかっていうと、“ここに居られない子”をつくるんです。『宿題しながらカレーを食べる』をダメなこととしたら、それをやる子は“ダメな子”。大人がルールに縛られるだけじゃなく、子どもも縛られる。『ルール守らんやつ、ここにいたらあかんやん』って。“ルールを守らない子”は来れなくなる。ここには、そういうルールがないんです。」

結果、自然に「**どんな子がいても、一緒に居られる秩序**」が生まれた。「子どもたちは、この場で自分のあり方を許容してもらっていることで、他の子のあり方も許容できるようになっている。『この子はあかん』って言うことで、自分も排除される対象になる。だから、『自分もこの子を許そう』と。」

また、子どもたちの間で、この場を守ろうとするすごく自然なルールもできてきた。『大変だ!』と子どもたちが近くの公園に落ちていたチロル堂の駄菓子のゴミを拾ってくるのがよくある。誰かに言われたからではなく、『拾わなきゃ』となる。子どもたちにおいて、自主的に守らなければいけない部分を（この場が）どんどん生み出しているんです。」

毎週末、200~300人ほどの子ども達が訪れる。今やチロル堂は、「**圧倒的に子どもたちの大好きな居場所**」になった。

■ 今の子どもたちが抱えている不安—「愛しきポンコツに会え!」

石田さんにとってチロル堂は、どのような場なのだろう。「こういうものをつくったら、どうなるんだろうっていう・・・実験の場所のようなもの。見えてきたものを発見して、見逃さないで、なぜそれが起こっているのかとか、どうしてそうなったのかっていうことを見せてくれる場所。学びの場」という答えが返ってきた。

「今の子どもたちは、得体の知れない不安を抱えているように見える」と石田さん。「子どもたちが、何を失ったからこんなにも不安を抱えていなきゃいけないのか」その答えがチロル堂の活動を通して見えてきた。それは、石田さん自身が行き詰まりを感じた“福祉の制度の縦割り”と同じことが地域の中や社会全体に広がっているということ。「子どもたちが生きている社会は、どんどんその**境界線が強く引かれる世の中**になってきたと思います。」子どもたちは家と学校と習い事の中で生きていて、出会う大人が限定されている。何を選んでもいい、個性の時代だと口を揃えているが、選ぶほど大人に出会っていない。



「子どもたちには、とにかくいろんな大人に出会って欲しいですね。大人って、標準だから。『愛しきポンコツに会え!』って思っているわけなんです(笑)。何か欠けている人も誰かにとっては癒やしになったり、立派な人の裏側には弱さがあったりする。そういうことを知れば、行き詰まった時に立ち上がる勇気になります。」

■ “わくわく♪”を生む入口のデザイン

石田さんがここ半年ほど頭を悩ませているのは、「**入り口のデザイン**」だ。地域の大人たちがチロル堂の風景を見て、「何が起きているの?」「行ってみよう」と知りたくなるみたいなことをつくる。「ここに参加すると楽しそう」「わくわくする」「面白そう」という入り口をどうつくるか。これが、今一番のチロル堂のチャレンジだ。

昨年、地域の小学校に招かれて出前講座をした際、石田さんは子どもたちにこう尋ねた。

「このまちにどんな機能があったら嬉しいですか」
「どんなことが起こったらいいと思いますか」
「それを実現するにはどんなことをしたらいいと思いますか」

仲間と一緒に思い描く地域のあり方を具現化するため、石田さんは今日もチロル堂で試行錯誤を続けている。

是非、一回チロル堂に来てみてください。



福祉サービスの質の向上に向けた取り組み紹介

～利用者の声を聞くために～

子ども・障がい者・高齢者などに関わる福祉事業所では、良質かつ適切な支援を展開しようと取り組まれています。一方、利用者は様々な事情を抱えサービスを利用されていますが、とすると遠慮などから自分の不安や苦情などを言いつらい状況も生まれます。こういったことを踏まえ、福祉事業所では利用者等からの声に適切に対応するため苦情を受け付ける窓口を設置し、サービスの改善に取り組まれています。

今回は、利用者の声を聞くために福祉事業所が実際にどのようなことに取り組まれているのか紹介します。

▶福祉サービスに関する苦情相談の今

奈良県社会福祉協議会は、利用者福祉事業所以外の第三者機関として運営適正化委員会を設置し、福祉サービス利用者ごと家族からの苦情を受け付けています。令和5年度に寄せられた相談の内訳は、障がい69%・高齢23%・子ども4%・その他4%と障がいのサービスに関する相談が一番多く寄せられました。

また、近年の傾向として利用者ご本人からの相談が多く、相談内容としては、『職員の接遇』『説明・情報提供』『サービスの質や量』に関する苦情相談が多く寄せられています。

▶福祉事業所が利用者の声を聞くために取り組んでいること

利用者の声は「苦情」として申し出がある場合もあれば、「要望」や「不安」として現れることもあります。そういった利用者の声を事業所ではどのようにして受けとめ対応しているのか、また声を出しやすいようどのような工夫をされているのか伺いました。

【社会福祉法人萌】

▶利用者が声を出しやすいように工夫していること

- ・ サービスを提供するうえで利用者の思いや声が大前提なので、担当者でなくとも相談をしやすいようにしている。
- ・ 匿名でも相談ができるよう、専用様式を作成し、ご意見受付制度・苦情対応制度案内とともに配付。職員の机の上やFAXでの提出など気軽に出せるようにしている。
- ・ 年1回アンケートを実施し、匿名で法人に対しての意見を記入してもらえらる機会を確保している。
- ・ 障がいに理解のある第三者委員を設置している。
- ・ 家族会代表、地域住民代表、関係機関が参加する運営協議会を年2回開催し、意見を聞いている。

専用様式➡

➡アンケート回収箱



あなたの意見をお聞かせ下さい

社会福祉法人では、福祉サービスに携わっておりますが、もっともっと皆さまに満足いただける事業所を目指しています。つきましては、どんな小さなご意見でも構いませんのでお聞かせ下さい。

お名前 (必須) (お名前を明記して入力して下さい)

●苦情の種類 苦情 意見 要望 その他

●公表による返答 返 不返

※匿名、匿名無効にしたい場合は、FAXや郵送でも受け付けています。

▶利用者等の声にどのように対応しているか

- ・ 苦情受付担当者や法人本部で相談を受け対応。
- ・ 月1回法人内の各事業管理者の会議でケース共有を行い、対応の検討や意見交換を行っている。

▶心がけていること

- ・ 「苦情受付」を前面に出すと、利用者が声を出しにくくなるため、「あなたの思いを聞かせてください」と柔和に案内をしている。
- ・ 事業所は安心安全な居場所として自分らしくすごせるよう、法人理念である「誰もが生き活きと自分らしく暮らせる心豊かな社会を創造する」に基づき、みなさんの声に耳を傾けるように意識している。

【社会福祉法人うねび会】

▶ 第三者委員の設置

- ・施設内で全てを完結しないよう、地域の方に第三者委員になっていただいている。

第三者委員の阪本氏に取材しました

Q. 第三者委員になったきっかけ

- ・元小学校教諭で、法人の監事より法人の近隣地域住民として推薦いただいた。

Q. どのような思いで取り組まれているか

- ・中立の立場で意見を述べるようにしている。定期的に施設訪問や運営推進会議に参加し、利用者や家族に第三者委員の存在を直接知っていただくことで、寄り添い納得いただけるよう取り組んでいる。施設側には緊張を与え、施設の質の担保になればと思っている。

④ 第三者委員と利用者との交流



▶ 利用者が声を出しやすいように工夫していること

- ・2ヶ月に1回、運営推進会議を開催。利用者、家族、職員、地域の民生委員、地域包括支援センター、第三者委員で意見交換を行っている。
- ・意見箱の設置、メールでの問合せ対応、年1回アンケートを実施している。

④ 給食委員会、運営推進会議の様子



▶ 利用者等の声にどのように対応しているか

- ・運営推進会議で出た質問等についてはその場で意見交換を行っている。
- ・年1回のアンケートは結果・内容にかかわらずホームページや運営推進会議で回答を公開している。

▶ 心がけていること

- ・コミュニケーション不足からの苦情が生まれないよう、普段から会話や対話を意識し、家族には利用者の様子を月1回報告するなどしている。
- ・利用者やその家族が運営に関わることが大切だと考えている。

まとめ

今回取材した法人では、日頃から利用者等とのコミュニケーションを意識し、関係機関等も交えながら福祉サービスの質の向上に向けた取り組みをされています。

福祉サービスに関する苦情等は利用者やその家族と福祉事業所との間で相互の話し合いで解決されることのできます。しかし、利用者等が福祉事業所に対して「お世話になっているから」と我慢することもあります。そういった利用者や家族の気持ちにも配慮し、声を出しやすくするための取組が福祉事業所には求められています。利用者等の声をサービスの改善意見として積極的に受けとめることは、利用者の安心につながります。事業者にとっては利用者ニーズの把握や利用者にあった支援を提供できているかを確認する機会にもなり、本人の生活の充実につながるのではないのでしょうか。



イベント&研修のお知らせ

これからますます需要が高まる福祉と保育の仕事。未経験、無資格でも大歓迎！是非お住まいの地域に貢献できる福祉・保育の仕事に挑戦しませんか？

お申込みはホームページをチェック！



福祉人材・採用力UPセミナー

令和7年 1月15日(水) 参加費 2,000円
奈良県社会福祉総合センターまたはご自宅からオンライン



かいご「再就職」応援セミナー

令和7年 2月15日(土) 参加費無料
奈良県社会福祉総合センター



福祉職カフェ in 奈良

令和7年 1月18日(土) 参加費無料
奈良商工会議所



福祉&保育のおしごとフェア in 奈良 2025

★約70の事業所が出展予定！
就活に役立つイベントも
同時開催予定です！

令和7年 3月16日(日)
奈良県コンベンションセンター



おしごとフェアの詳細はこちら！



news!

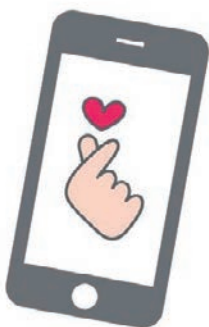
福祉人材センター
保育人材バンク
公式アカウント

ついに開設
しました！

フォロー・いいね
お願いいたします！

@nara.hukushi.jinzai

@narahoikubank



Instagram始めました！



NARA.HUKUSHI.JINZAI

福祉人材センター



NARAHOIKUBANK

保育人材バンク

現在募集中の
研修のご案内

あなたのキャリアアップを 応援します！

定員に達するまで、募集しています。
受講を希望される方はお問い合わせください。

研修名	研修日程	日数	対象者
ストレスマネジメント研修	令和7年 1月28日(火)	1日間	社会福祉施設・事業所等の主任・リーダーなど管理的な立場の方

詳細、最新情報は、[本会ホームページ](#)をご覧ください。

随時更新しております。



★奈良県登録の介護支援専門員の方へ：更新時期が近づいている方には、県より登録住所あてに「受講希望調査」のお知らせが届きます(12月下旬予定)。資格の更新が必要な方は、必ずご自身で受講時期を確認し、調査にご回答ください。調査にご回答いただいた方には、研修日程が確定次第、開催案内を送付いたします。

特集!

「笑顔の輪」が
広がる!
福祉の仕事

「利用者さんが“今日も行きたい”
と思えるようなデイサービスを目指して」

福祉人材センターでは県内の福祉・介護事業所の今を知るために事業所訪問を実施しています。今回は大和高田市にある(福)太樹会デイサービス和里(にこり)で働く、松村さんにお話を伺いました。



社会福祉法人太樹会
デイサービスセンター和里(にこり)
松村 真惟さん

①福祉の仕事を選んだきっかけを教えてください。

小学生の時に職業体験で福祉施設に行ったことがきっかけで福祉のお仕事に興味を持ちました。また祖父母と同じ敷地内に住んでいて、すごく近い存在だったこともあり、将来役に立ちたいと思いました。

②デイサービス和里(にこり)で働いてみていかがですか？

学生の頃にユニットケアに力を入れていることが魅力的で入職して16年目になりました。特養での経験を経て今はデイサービスに所属しています。研修制度が整っておりステップアップができますし、お休みが取りやすい環境なので子育てしやすいと感じています！

③この仕事を目指す方へメッセージをお願いします。

利用者さんの笑顔と「ありがとう」の言葉が私にとってやりがいです。仕事を続ける中で色々なことがありましたが、一人で悩まず職員同士や利用者さんに支えられていると感じます。是非施設に来て肌で感じてください！



※1



※2



※3

※1 奈良県福祉・介護事業所認証マーク
安心して働ける福祉・介護の職場を知事認証し、公表しています

※2 くるみんマーク
「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた証です。

※3 社員・シャインマーク
社員がいきいきと働ける環境作りを推進している企業として、取り組み内容を県で公表しています。

松村さんの職場はココ!
社会福祉法人 太樹会



お問合せ先 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 福祉人材センター

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11

ホームページ <https://nara-shakyo.jp/>

●就職に関するお問い合わせ

TEL : 0744-29-0160 FAX : 0744-29-6114

メール : work@nara-shakyo.jp

福祉の仕事・研修>[人材センターイベント情報](#)

●研修に関するお問い合わせ

TEL : 0744-29-0130 FAX : 0744-29-6114

メール : kenshu@nara-shakyo.jp

福祉の仕事・研修>[福祉の研修](#)>[福祉職員向け研修](#)

「小津こども福祉基金運用事業」

こどもの未来応援プロジェクトが スタートしました

－こどもの未来応援プロジェクトの創設－

奈良県社会福祉協議会では、こどもの幸せを願う方からのご寄付をもとに「小津こども福祉基金」を設立し、こども本人の喜びや将来への一歩を応援することを主眼に、新たに「こどもの未来応援プロジェクト」をスタートしました。

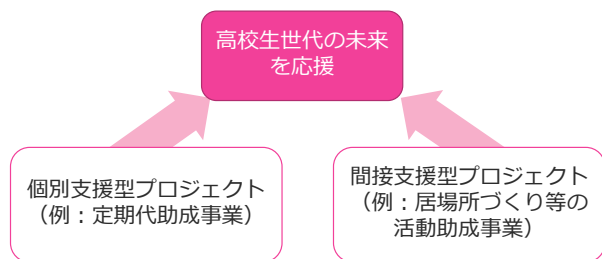
－実践から見えてきた高校生世代の課題感として－

本会では、「奈良県子どもの“心と学び”サポート事業」を受託し、経済的困窮や社会的孤立などを背景に様々な課題を抱えるこどもたちへの学習支援に取り組んできました。そのなかで、高校への進学に悩むこどもや、地元の友人や先生と離れた新しい環境や人間関係になじめず、目標が見つけれないまま中途退学にいたるこどもに出会ってきました。新たな道が見つけれない状況が長期化するケースも少なくなく、10年以上も社会との接点を持てなかったという30代の相談者にも出会いました。

高校生世代は社会に出るための準備期ですが、時に迷い、時につまづくこともあるでしょう。未来に向けて、自分らしく社会にはばたくために何かできないか、このような問題意識から「こどもの未来応援プロジェクト」として、高校生世代の応援策の検討を進めてきました。

－高校生世代を応援する2つの取り組み－

「高校生世代」を民間のチカラで応援することを目指し、プロジェクトの核となる2つのリーディング事業を始動しました。



また、高校生世代の未来に向けては、本人の自信や自尊心を支える関わりや伴走が大切であること、そして社会性や生きる力を育てていくことの重要性も実感しています。

そこで、2つめの事業として、必要なケアを受けたり、関係性が広がる居場所づくりの活動を支援したいと考え、関心の高い活動団体と意見交換を進めながら、助成金創設を目指し動き始めているところです。

1つめは、ご本人や世帯への直接支援として、今年度4月より県内町村（十津川村除く）在住の新高校1年生を対象とした「高校生等通学定期代の一部助成」です。この助成金は、高校生等の通学にかかる経済的負担を少しでも軽減し、希望する学びを応援することを目的として支給するものです。

※詳細につきましては、
下記 QR コードより
資料請求してください。



●●●● 社会福祉法人福利厚生センターのご案内 ●●●●

奈良ソウェル・クラブ(福利厚生センター)は 福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

「安心して働ける働きやすい魅力ある職場づくり」のため、健康・生活・余暇・啓発などの分野で様々なサービスの提供。

- ◇加入要件 社会福祉事業または介護保険事業を営業者
- ◇加入対象事業 社会福祉事業、社会福祉事業以外の介護保険事業
- ◇加入対象者 社会福祉事業等を営業者法人内の役職員全員(非常勤職員含む)
- ◇会員の種類及び掛金 第1種契約対象職員…1人あたり毎年1万円
第2種契約対象職員…1人あたり毎年5千円
(利用サービスが限定されます)

全国会員数
27.4万人
奈良県会員数
2.3千人
(2024年11月末現在)

会員募集中

◇ソウェル・クラブの10大サービス◇

生活習慣病予防 健診費用助成 (最大 4,600 円助成)	慶事のお祝い品 (結婚・出産・入学)	弔慰金 (会員・配偶者死亡)	永年勤続記念品 勤続5～30年及び 35年以上の退職時に贈呈
健康生活用品給付 毎年全会員に給付	資格取得 5,000円相当の記念品	各種講習会 受講料・教材費無料	
ソウェルクラブ“クラブオフ” ホテル、レジャー施設、飲食店など 20万件以上の優待サービスが利用可能	クラブ・サークル 活動助成 1人あたり1,000円助成	会員交流事業 (都道府県ごとの各種イベント) 割安な参加費	

資料請求は、社会福祉法人 福利厚生センター (TEL 0120-292-711) まで、お電話でお問い合わせください。
サービスの内容等詳細は、「ソウェルクラブ (https://www.sowel.or.jp)」で検索ください。
奈良ソウェル・クラブ (福利厚生センター) : TEL0744-29-0100 奈良県社会福祉協議会総務企画課

奈良県社会福祉協議会の会員施設、施設の役職員の皆さまへ

○西日本自動車共済(経済産業局認可)の自動車共済は

- ★会員施設のご契約は**福祉施設割引10%適用**(※適用には条件があります。)
- ★会員施設で10台以上所有・使用する場合は**フリート契約方式**となります。
・包括して割引を適用する包括方式と、個別に割引を適用する**共済独自の個別方式が選択できます。**
- ★会員施設で働く役職員のご契約には**団体割引10%**を適用!!
・他社でのノンフリート等級別割引・割増および事故あり係数適用期間を継承します。
・奈良県社会福祉協議会の会員施設の役職員の方がご契約者となり、所有するマイカー(同居の親族が所有する自動車を含む)のご契約には**団体割引10%**が適用されます。

- ★安心の大型補償とロードサービス&事故対応
 - ・対人「無制限」、対物「無制限」、人身傷害「無制限」が選べる
 - ・フリーダイヤルによる24時間事故受付体制、専任担当者による事故処理
 - ・すべての契約に24時間安心のロードサービスつき

- ★充実の補償およびお得な割引制度
 - ・弁護士費用特約・他車運転特約・対物超過修理費用特約 他
 - ・新車割引・ASV割引・福祉車両割引・エコカー割引 他

※団体割引率は、団体のご契約台数により毎年見直され、変動する場合があります。
※共済種目や特約、各種割引、フリート制度、団体制度等の詳細は共済代理所または近畿事業部までお問い合わせください。



【引受組合】

【共済代理所】

奈良県火災共済協同組合

奈良市西大寺南町 8-33 奈良商工会議所会館
〒630-8214 TEL 0742-52-0082

承認番号 NJ600.2411.0170.999999



西日本自動車共済協同組合

近畿事業部：大阪市中央区安堂寺町 2-1-10-430
TEL06-6765-9580

本 部：福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL092-441-5901



赤い羽根共同募金

つながりをたやさず支えあう社会づくり



赤い羽根募金 奈良県ぴ〜すぺ〜すプロジェクト 令和6年度参加団体が決定しました



R6年度プロジェクト参加団体メンバーほか

- 地域課題解決に取り組んでいる民間団体が奈良県共同募金会と協働で、活動のための寄付金を募ります。
- お寄せいただいた寄付金は、当該団体の活動資金として助成されます。

プロジェクト募金活動期間：令和7年1月1日～令和7年3月31日

①(特非)市民ひろばなら小卓 (奈良市)



小中学生の学び場・居場所の運営

②Aroma&Yoga Keina (奈良市)



アロマとヨガを通じた、ろう者・引きこもりの方への支援

③なら学生支援の会 (奈良市)



生きにくさを感じている大学生への支援

④バルーンアート・レインボー (奈良市)



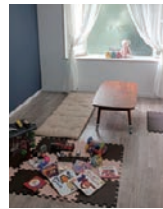
子ども・高齢者等に元気と感動を与えるバルーンアート活動

⑤矢田っ子倶楽部 (大和郡山市)



シニアが活躍する野菜作りを通じた世代・国を超えた交流活動

⑥みなも(橿原市)



心と身体をほくすカウンセリングで子育て中の親子を支援

⑦(特非)T-seed(香芝市)



家庭訪問で子育てを支援するホームスタート活動

⑧こども食堂いかるが (斑鳩町)



食事をしながら話せる居場所で人を思えるやさしい気持ちをリレー

寄付の払込方法・手順

全国のゆうちょ銀行・郵便局の窓口において、「払込取扱票」により手数料免除で払込みできます。

【口座記号番号】00980-6-300 【加入者名】社会福祉法人 奈良県共同募金会

★プロジェクト参加団体①～⑧の中から支援したい団体を選び(複数選択可)、「払込取扱票」の通信欄に「寄付先(丸数字)」を記載してください。

プロジェクトの概要や各団体の活動の詳細はこちら



さまざまな募金方法があります



PayPayでご寄付いただけます
※匿名寄付も可能です



令和6年10月1日からオンライン上の寄付の支払い方法として「PayPay」が導入されました。

二次元コードから、①寄付金額、②寄付先の都道府県、市町村を指定し、入力内容を確認後、「PayPayで寄付」ボタンを押し、「PayPay」の画面から「寄付をする」を押してください。

【遺贈・相続寄付】

「自分が築いた財産を困りごとを抱えておられる方々のために使って欲しい」「故人の遺産を地域の子もたちのために役立ててほしい」とお考えの皆さま、共同募金を通じて、その思いを生かしませんか。

【赤い羽根自販機による寄付】

売上げの一部が共同募金に寄付されます。

【受配者指定による寄付】

寄付者が社会福祉事業や更生保護事業を行っている特定の法人と使いみちを指定して寄付する場合の税制優遇制度があります。審査を経て、条件を満たせば、法人の場合は寄付金額の全額が損金算入されます。



社会福祉法人
奈良県共同募金会

〒634-0061 橿原市大久保町 320 番 11 奈良県社会福祉総合センター 4F
TEL : 0744-29-0173 FAX : 0744-29-0174
E-mail : info@nara-akaihane.com



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間 1年

▶ 保険金額			▶ 年額保険料(掛金)	
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	基本補償(A型) 2億円・10億円 見舞費用付補償(B型) 2億円・10億円	定員	基本補償(A型)
	財物賠償(1事故)	2,000万円	1~50名	35,000~61,460円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	51~100名	68,270~97,000円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	以降1名~10名増ごと	1,500円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	見舞費用付補償(B型)	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円		
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円		
者舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	● オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償 ● オプション2 ● 医務室の医療事故補償 ● オプション3 ● 看護職の賠償責任補償 ● オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償 ● クレーム対応サポート補償	
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度		
傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円		

- 2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL : 03(3349)5137

受付時間 : 平日の9:00~17:00(土・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL : 03(3581)4667

受付時間 : 平日の9:30~17:30(土・祝日、年末年始を除きます。)

～奈良県社会福祉協議会「地域ささえあい基金」へのご寄付をいただきました～

本会では、令和6年4月に「地域ささえあい基金」を設置しました。

この基金は、社会的養護や生活支援を必要とする子ども、社会で孤立している高齢者や障害者、自然災害の被災者などの生活支援を目的に、皆様のお志の受け皿としての基金です。

この度、この「地域ささえあい基金」へ、遺贈寄付により1名、長野 聡様ほか2名の方々より温かいご寄付をいただきました。ありがとうございました。

<お問い合わせ先> 総務企画課 TEL:0744-29-0100 FAX:0744-29-0101



ご寄付・ご寄贈

ありがとうございました。

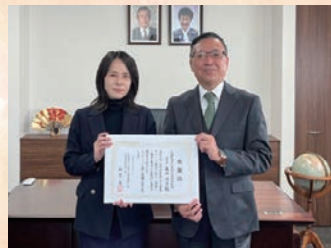
地域福祉・ボランティア活動振興のため、奈良県中央善意銀行へご寄付をいただきました。
(令和6年8月16日～令和6年11月15日受付順、敬称略)

金銭預託

- 株式会社吉田稔商店
- 一般社団法人生命保険協会 奈良県協会
- 奈良県遊技業協同組合
- 公益財団法人森田記念福祉財団



一般社団法人生命保険協会奈良県協会
寄付金贈呈式



公益財団法人森田記念福祉財団
寄付金贈呈式

物品預託

- 奈良県理容生活衛生同業組合
- 奈良県農業協同組合
- 大和ハウス工業株式会社奈良工場



奈良県農業協同組合 贈呈式

奈良県中央善意銀行の寄付金は以下の活動に使わせていただいております。

- 地域福祉活動への助成
- 奈良子ども食堂ネットワーク
- 県内の交通遺児への取り組み
- フードレスキュー事業 等

奈良県中央善意銀行
寄付に関する
お問い合わせ・受付窓口

奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター
福祉教育・ボランティア活動係
(奈良県社会福祉総合センター内)

〒634-0061 橿原市大久保町320-11
TEL:0744-29-0155
FAX:0744-26-0234

奈良県社会福祉協議会 賛助会員

地域福祉活動推進へのご支援、ご協力ありがとうございます。

(敬称略・五十音順)

- 株式会社アクティブエナジー
- 株式会社アネックス
- 株式会社柿の葉すし本舗たなか
- 株式会社春日
- 株式会社寺田ポンプ製作所
- 株式会社トイント
- 株式会社ナカガワ
- 株式会社南都銀行神宮前支店
- 株式会社ニトリ 法人&リフォーム事業部 堺
- 株式会社ヤナギビジネス
- 川端運輸株式会社
- 河村繊維株式会社
- 関西電力株式会社 奈良支社
- コニカミノルタ QOLソリューションズ株式会社
- 合資会社 健やか
- 小山株式会社
- 阪田聖司
- 佐藤物産株式会社
- 佐藤薬品工業株式会社
- 三和澱粉工業株式会社
- 全国共済農業協同組合連合会 奈良県本部
- SOCIUS VALUE 株式会社
- 大和ガス株式会社
- 大和ハウス工業株式会社奈良支社
- 高橋 清治
- 東洋羽毛関西販売株式会社
- 奈良県生活協同組合連合会
- 奈良県年金受給者協会
- 奈良中央信用金庫
- 松塚建設株式会社
- 松田電気工業株式会社
- 三笠産業株式会社
- 大和信用金庫

お問い合わせ先

総務企画課
TEL:0744-29-0100
FAX:0744-29-0101
<https://www.nara-shakyo.jp>

